



学社融合で取り組む地域教育と環境保全

寄稿：米田博（正法寺川を考える会会長）

【生涯学習の視点で学社融合・環境観察学習会を展開】

キーワード：学社融合・学校支援・環境学習

1. 要旨：学校との連携のはじまり

平成9（1997）年3月18日、水辺環境の創出や保全・再生を図ることを目的に、町内中心部を流れる河川「正法寺川」の環境美化活動を行う「正法寺川を考える会」を13名のメンバー（構成：会社員・自営業者・主婦など）で発足、実践活動と学習を重ね、年度ごとに活動の輪を広げてきた。

発足9年目の平成17（2005）年度より、地元、藍住北小学校と連携、融合した環境観察学習会を開催、4年目をこのほど終えた。そこで、次に実践活動を紹介する。

（1）学校支援のはじまり

発足4年目の平成12（2000）年には、当会の活動も地域で評価を得るまでになってきた。折り返し、町内の藍住中学校と藍住北小学校が総合学習の時間に、環境問題をテーマに正法寺川の調査研究に取り組んでいた。

最初の学校支援のキッカケは、学校側からの依頼であった。総合学習での正法寺川の環境学習をさらに深めていくため、活動に取り組んでいる当会に支援をして欲しいとの内容で、私が環境学習ティーチャーとして教壇に立った。

（2）学校支援の展開（藍住北小学校）

平成13（2001）年2月6日、5年生90名ほどを対象に、ワークルールで、午後1時45分より2時30分までの45分間授業を講義説明で行った。

子どもたちも、川の状況や水質・生きものなどについて研究していたので、私は、川の歴史や移り変わり、地域住民と川の関り、水質の状態、生息する生きものや、毎月の清掃活動を通してわかった現状などのついて、パネルやパンフレット、資料を通して講義した。

その後、質疑応答の時間をとった。質問はとても多様な内容で、手をあげて元気に次々飛び出してきて、とても有意義な授業となった。最後に私から、当会が開催する環境観察会への参加や、毎月第二日曜日の早朝7時30分より行っている清掃活動の取り組みを説明した。自主的な活動だが「ボランティアをやってみようと思ったら、活動に参加してください。」と呼びかけた。

うれしいことに、早朝のボランティアに子どもたちが参加してくれるようになり、平成21（2009）年3月現在、会員80名（内、子ども会員35名）に達し、会の活動もジュニアからシニアまで異年齢の集団となった。

（3）連携の輪・広がる

学校との連携ネットワークは、その後、藍住中学校、鳴門第一中学校、藍住西小学校、県内活動団体へと広がり、活動の視察や講演・研修会の講師などの依頼を受けるまでになってきた。

一方で、会員は、県が開催する「環境ボランティアリーダー養成講座・1年間研修」などに積極的に参加し終了、環境指導者として成長している。

一人ひとりが学んだことを生かす「活動と学習」の意欲が次への豊かな活動に広がっている。そして、「住民活動まちづくり・基本はいつも生涯学習」がスタッフの合言葉になってきた。

2. 学社融合の展開：年間を通しての取り組みへ（平成17（2005）年より）

平成16（2004）年までの活動をふりかえり、年に数回の関りではなく「年間を通した支援の要望」が学校にあるのならと思いつき、「当会の身の丈で開れますのでご相談ください」と、当会の姿勢を学校に伝えた。その結果、学校より「是非、お願いをしたい」との要請に、年間を通して取り組むことになった。

（1）活動づくり（検討会・企画会議・スタッフ会議）

新年度がスタートすると学校と打合せに入り、4年生担任、校長先生といっしょに、学校の取り組みたいことを含め年間事業計画を聞く。子どもたちは調査、研究したいことを出し合う、そして、子どもたちの要望に沿って「年間活動計画案」を作成する。学校は学校としての「目標」「ねらい」を、当会は、当会としての協働活動目標を創る。

（2）環境学習プログラム

子どもたちが取り組む学習研究なので、活動の注意点として「安全第一……基本を守ろう！活動者の目線でお互い学び合おう！」「専門性を持ち、専門的になりすぎないこと」を目標に、活動内容は随時打合せをし、一人ひとりが主役の活動を目指している。

正法寺川を考える会の内部目標は「子どもたちとの、体験学習を通して、私たちも学び成長、進歩して行こう」がテーマとなっている。

（3）体験型・ふるさとの川環境観察学習会

今年度（平成20年度）は、4年生（3クラス91名）と、「川調べ」「野鳥」「水質」「魚」の4グループに分かれて実施、徳島県・国土交通省・日本野鳥の会徳島県支部・藍住町生活環境課・県立博物館（佐藤先生）はじめ、多くの方々のご支援をいただいた。また、鳴門教育大学伴教授ほか（大学院生15名）が学社融合の取り組みを研究、現地研修では活動に参画、協働活動となった。もちろん、学校の先生方と当会のスタッフ（10名）が活動を支えている。

（4）学習発表会の開催

本年（平成21年）2月25日、学校で大勢の方々の参観をいただき、素晴らしい活動発表会となった。多くの成果があったが、何よりもの成果は、子どもたち自らが多くの「環境改善」の提案を発表したことだ。

全国学校ビオトープ・コンクール2009 4月から募集開始

全国学校ビオトープ・コンクール2009

4月から
募集開始

～いのちいろいろ、みんななかよく～

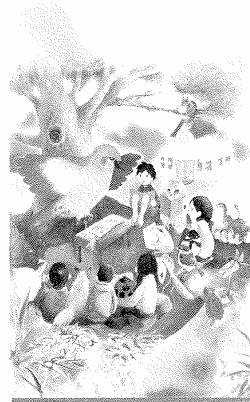
6月30日(火)締切

来年に名古屋市で生物多様性の国際会議が開催されるなど、「生物多様性の保全」がますます注目されています。地域ごとに多様な生きものを守り育て、自然との共存を体験的に考えることができる学校(園庭)ビオトープは、まさに生物多様性を学ぶ最適な教材です。

前回のコンクールでは、応募総数も増え、幼稚園・保育所から大学まで幅広い取り組みを紹介することができました。第6回となる本コンクールでは、学校ビオトープとその取り組みに、より一層スポットライトを当て、学校そして地域へと生物多様性を守る輪を広げていきたいと考えています。今回も、応募いただいたすべての学校(園)に、専門家が現地審査に伺い、必要に応じてアドバイスをを行います。

ぜひ、取り組まれている学校(園)への周知をお願いします。
みなさまのご応募をお待ちしています!

全応募校に現地審査
アドバイス可能!



記者：犬伏潔(会員)
【エコシステム2009 102より転載】

前回の2007では、最優秀5部門の総合部門(文部科学大臣賞)に海陽町立穴喰中学校(徳島県)が選ばれました。

校内の人工ビオトープに限らず、地域の身近な自然や公園ビオトープなどを活用した取組も対象です。地域の自然環境保全(ビオトープ活動)に取り組む学校に、コンクールへの応募を是非お勧めください。

URL <http://www.ecosys.or.jp/eco-japan/> TEL 03-5951-0244

ECOSYSTEM

ビオトープ・ナビ Q&Aコーナー

記者：小倉明(会員)

【Q(質問) Kさん】

用水路の水を引き込んで、草地のビオトープに池を加えました。活動でpHを調べると、入る水はpH7ですが池のオーバーフローの排水はpH9でした。酸素と水素が関係した化学反応のようにも思うのですが?

アルカリ性の水を用水路に放流して、農作物にアルカリ障害を起こさないか心配しています。

【A(回答) 水をアルカリ性にする光合成作用】

水中で光合成をするのは、フサマヤクロモなどの沈水植物と池底や敷石の付着性藻類及び藍藻類等の植物プランクトンがあげられます。これらは、陸上植物と同様に光合成によって、水中の二酸化炭素を吸収し、有機物を合成し、酸素を放出します。そのため、水生植物が繁茂している水中では、二酸化炭素や重炭酸塩などの炭酸物質が減り、酸素の濃度が高くなります。

光合成作用が更に進むと、二酸化炭素が足りなくなり、水中で加水分解反応が起こり、重炭酸塩から二酸化炭素を供給するようになります。これと同時にこの反応によって生じた水酸化イオンによって水中のpHは上昇し、アルカリ性になります。

藍藻類は、アルカリ性を好み活動がますます活発になります。本来は中性付近の水が、光合成作用によってアルカリ性の水に変わるのは、生物活動による水質変化の典型的な例のようです。ただ、このような生物活動は、時期や場所によって大きく変わるので、それに伴う水質変化の程度も季節や朝夕及び場所によってかなりの変動があります。

下流への放流水が及ぼす農作物等への影響ですが、花崗岩等の鉱物由来や化学物質に起因する場合は、慎重を要すると思います。しかし、生物活動由来の場合は、特に問題なしと考えられます。

ビオトープ・ナビ 雑学コーナー

記者：樫本幸実(会員)

【ビオトープでの気づきを生かし支える】

学校ビオトープの活動では、子どもたちから様々な質問が浴びせられます。と同時に、子どもたちの柔軟な脳に驚かされ、正に「子どもは天才」「自然が先生」ということを実感します。

子どもたちは、素直な思いや希望、そして疑問や解決への意欲に満ち溢れています。ここでは全てを紹介できませんが、一例としてご紹介します。

まず、活動のはじめには「こんなビオトープにしたいい!」と言った思いが(夢や希望 豊かな心を育む)次の段階には「なぜ?」と言った疑問が(自然の変化に関心 探究心を育む)さらに「どうしたら?」と発展し(疑問から工夫へ 課題発見と解決能力を育む)そして、解決(行動へと展開)に意欲を示します。

また、全ての教科はもとより、環境・保全・地域・人間関係教育など、つながりを基本とした横断的な活用が可能です。文末に、小学2年生からの質問例をあげました。質問に正しく答えることは当然ですが、さらに発展的な学習へと手助けすることも大切です。親として、教師として、専門家として、様々な立場から「どのように答え」「なにを伝えるか」を考えてみてください。

1.なぜビオトープの水は黒くなるの? 腐敗と醗酵
納豆・ヨーグルト 家庭科 / 2.水が黒くなったら生きものが減った気がする? グラフにしてみよう 算数 / 3.ジャンボタニシの退治方法は? 無責任な行為が招いた結果 態度(倫理や道徳) / 4.ムクドリはなぜオレンジ? いろんな色を探そう 自然は芸術家 図工 / 5.メダカはどこで捕まえた...どこから来た? 聞き取り調査 国語 / 6.田んぼにミズカマキリがいなくなったのはなぜ? 生きものの生活史と環境と農業 社会 / 7.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 8.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 9.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 10.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 11.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 12.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 13.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 14.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 15.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 16.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 17.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 18.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 19.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 20.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 21.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 22.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 23.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 24.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 25.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 26.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 27.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 28.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 29.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 30.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 31.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 32.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 33.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 34.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 35.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 36.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 37.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 38.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 39.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 40.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 41.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 42.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 43.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 44.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 45.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 46.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 47.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 48.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 49.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 50.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 51.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 52.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 53.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 54.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 55.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 56.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 57.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 58.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 59.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 60.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 61.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 62.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 63.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 64.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 65.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 66.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 67.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 68.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 69.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 70.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 71.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 72.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 73.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 74.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 75.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 76.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 77.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 78.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 79.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 80.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 81.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 82.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 83.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 84.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 85.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 86.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 87.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 88.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 89.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 90.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 91.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 92.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 93.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 94.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 95.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 96.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 97.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 98.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 99.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会 / 100.鳥はアーモンドを食べるの? 食物と輸入 社会

編集後記

学校と地域が融合して取り組む環境学習と環境保全のご寄稿をいただきました。地域で活動する団体の学校支援は、活動の継続のための重要な要素の一つだと思います。このような活動の広がりが期待されます。編集：樫本幸実